

研究実施のお知らせ

2020年5月13日 ver.1.3

研究課題名

未閉経バセドウ病女性における椎体骨折リスクの検討

研究の対象となる方

2007年4月から2020年3月の間に島根大学医学部附属病院でバセドウ病と診断され治療を受けられた未閉経女性の方。また、同期間に内分泌代謝内科に入院され検査を受けられた未閉経女性の方。

研究の目的・意義

バセドウ病患者さんは、そうでない方と比較して骨粗鬆症や骨折を発症しやすいと言われていています。骨折をおこすと、日常生活に大きく支障をきたすだけでなく、次の骨折が起こりやすくなり、御年齢によっては命にもかかわるため、その予防はとても重要です。今回対象としている未閉経女性においても、骨折により日常生活、仕事、育児などに影響を受けてしまう方もいらっしゃいます。

これまでに、バセドウ病患者さんで骨折の危険度が高まっていることが明らかにされているのは、主に閉経後女性を対象とした検討でした。今回は、未閉経女性においても、骨折の危険度が高まっているかを検討し、もしも骨折の危険度が高まっているようであれば、積極的に啓発し予防につなげていきたいと考えています。

研究の方法

未閉経の患者さんに関して、過去のカルテ記載を確認して、以下の項目を集積させていただきます。

診療録より：

身長、体重、喫煙歴、飲酒歴、骨折歴、ご両親の骨折の有無

血液・尿検査結果より：

初診時の甲状腺ホルモン(Free T3、Free T4、TSH)*、抗体価(TSH 受容体抗体、TSH 受容体刺激抗体)*、Alb、ALP、Ca、リン、Cr、eGFR、Intact PTH、HbA1c、中性脂肪、骨代謝マーカー(尿中 NTX)

*バセドウ病の患者さんのみ対象です。

骨密度検査結果

胸腹部 X 線検査結果

バセドウ病の方とそうでない方のデータを比較して、椎体骨折が存在する方の割合

に差があるのか、さらに椎体骨折が存在する方にはこういった特徴があるのかについて検討いたします。

・個人情報に関しては、本研究のみを目的に使用します。解析、公表の際にも個人が同定できないようにカルテより情報を集積します。

研究の期間

2020年5月14日～2021年12月

研究組織

この研究は島根大学医学部内科学講座内科学第一が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部内科学講座内科学第一 野津 雅和

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2021年6月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座内科学第一／附属病院内分泌代謝内科 野津 雅和

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2183 FAX 0853-23-8650